

「地球のこわれる音を聞いてくれ！！」

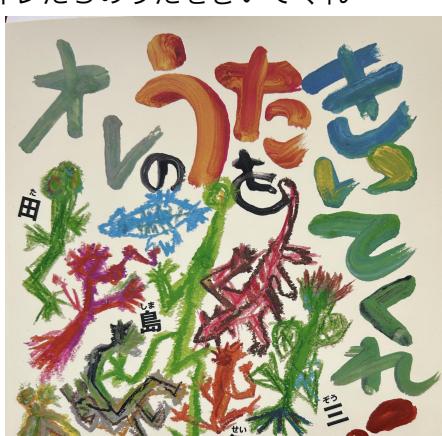
田島征三

今年は3年に一度の「大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ」。ぼくの関わる十日町市鉢集落にある「絵本と木の実の美術館」の校舎の一階一番奥の部屋では、この美術館での芸術祭のテーマタイトル「オレのうたをきいてくれ！」の歌を渡辺大知くん（NHK大河ドラマ「藤原行成」役）が作曲して歌っている。

校舎の拡がるビオトープの池・小川・田んぼに昨年までに制作した鉄彫刻（鞍掛純一と共に）が、多様な水中棲物・流れの音・田に咲く花（オモダカ）のケハイを形にして建っている。今年になって、集落の義松さんが提供してくれた土で、鈴木豪（ビオトープの小川を木工沈床という河川工法で造った環境土木家）によってみどりの丘が出来た。ビオトープの生き物たちの棲む水を最下流で受け止めた水で、中里繪魯洲が巨大水車により丘のてっぺんの彫刻がビオトープの小さな命たちの歌を歌う。その歌をきいてくれ！というのが芸術祭の作品だ。作品は鞍掛・中里・鈴木と征三の協働作品だ。地球は多様な生物によって営まれてきた。しかし政治家は過度な経済優先の地球運営を強行した。その最下流で過剰生産の物品は廃棄され、有毒化学物質を拡散した。わがビオトープに棲む多様な命は、地球が腐り始めたことにまだ気づいていない。

「オレのうたをきいてくれ」 作詞・田島征三
作曲・渡辺大知

オレのうたをきいてくれ
オレのうたをきいてくれ
オレのうたをきいてくれ
流れる水のうたをきいてくれ
砕ける土塊のうたをきいてくれ
どしゃぶりの空のうたをきいてくれ
森の木々いっぽんいっぽんのうたをきいてくれ
草叢に咲く小さな花のうたをきいてくれ
その花びらを散らして通り過ぎた風のうたをきいてくれ
オレたちのうたをきいてくれ



左奥に水車、右は鉄作品

オレのうたをきいてくれ
オレのうたをきいてくれ
オレのうたをきいてくれ
絶滅した爬虫類のうたをきいてくれ
飛び散った兵士の肉片のうたをきいてくれ
奇形の魚たちのうたをきいてくれ
燃え尽きる熱帯雨林と
プラスチックスープになった海のうたをきいてくれ
破れた恋と埋めたてられるサンゴ礁のうたをきいてくれ
腐った地球と死んでゆく子どもたちのうたをきいてくれ
オレたちのうたをきいてくれ

オレたちのうたをきいてくれ
オレたちのうたをきいてくれ
オレたちのうたをきいてくれ
潮騒のうたをきいてくれ
星屑のうたをきいてくれ
シナイモツゴのうたをきいてくれ
荒地に降る霧雨のうたをきいてくれ